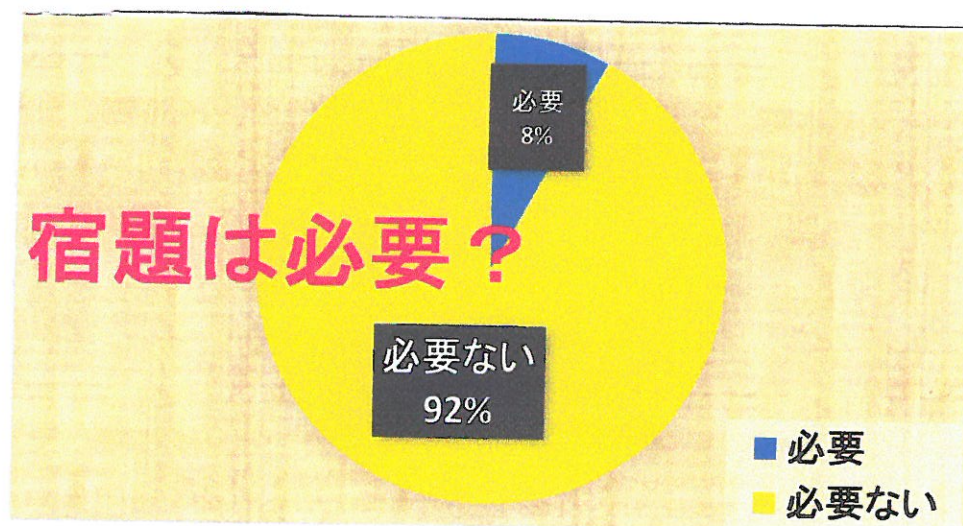


1.はじめに

私たちが学校の先生だったとしたら宿題は必要ないと考え、廃止します。
その考えをもとに、様々なことを調べました。

2.宿題と学力は関係ない!?

過去に実施された国際数学理科教育動向調査にて、成績が低いレベルのタイ、ギリシャ、イランでは教師が多く宿題を出す傾向が強かったとされています。つまり宿題を多く出すと学力が上がる!!というわけではないのです。そもそも、やる気がないのに宿題をしても勉強に身が入らず、計算ミスが増えたり、集中力が無く、間違えだらけの宿題になってしまいます。そこで、宿題の実態を知るために中学1年生～中学3年生の男女50人に「宿題は必要か?」というアンケートを取りました。



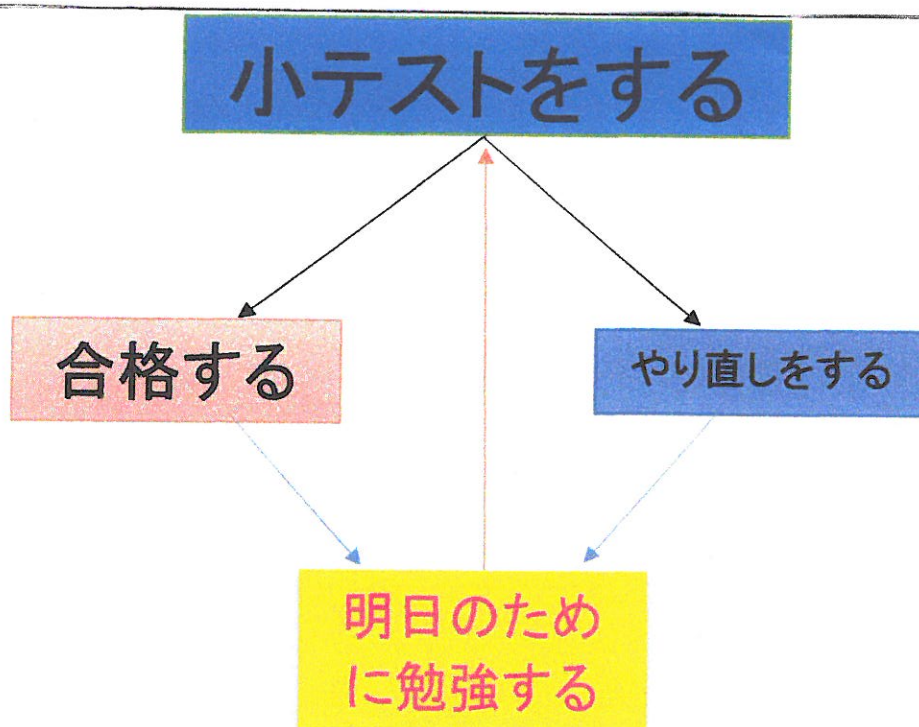
この結果から、圧倒的に宿題が必要ないと考えた人が多いことがわかりました。その理由を聞いてみると「面倒くさいから」「やっても意味がないから」というマイナスな意見が多かったです。ということは、この状況のまま宿題をすることは、内容に身が入らずただの無駄な作業でしかありません。また、「計算や漢字などはやっているうちに覚えて定着する」というのは、どうなのでしょう。もし、違うやり方や漢字を覚えてしまったら、その後のテストや生活にも困り、また覚えなおして、二度手間になります。

3.宿題よりも学力の上がる勉強法

まず、宿題を真面目にやる人は宿題がなくても、家庭学習をしっかりと毎日します。しかし、宿題をしない人はきちんとした人のを写すだけです。この時点で学力にどんどん差が開いていきます。そこで、その対策として、宿題を出さずに毎日小テストを行ってみてはどうでしょう。

例えば10点満点のテストをして7点以下を取った人は、わかるまで学校で勉強する。わかったら再テストをして8点以上を取れたら帰宅できる。という方法を取るとすると、毎日1人1人違う目標ができ、その目標に向かって自主学習をすることで、その人の学力の向上に繋がるのではないのでしょうか。

「家に早く帰りたいから勉強する。」「自分の楽しみである部活に参加できないから頑張る。」最初はそれでいいと思います。なぜなら、結果的には自分の学力が上がるし、毎日テストをすることで、自主学習をする習慣もつき、一石二鳥だと思うからです。



4.宿題は廃止すべき！！

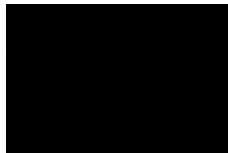
たとえば、例に挙げたように、毎日の小テストを取り入れて、自主学習の習慣がつくようにすれば、自分に合った勉強が出来るので、宿題があるよりも学力は上がっていくと思います。また、学習に自主的に取り組むという事は、学力向上

はもちろん、普段の生活の中でも当たり前のことのことが当たり前になるようになってきたり、社会に出たときに指示をされないと出来ない人ではなく、自主的に行動し、社会に貢献していける人にもなると思います。この様な理由から、宿題や勉強は、強制されてやっても身につくものではなく、学力向上に繋がらないので、私たちがもしも学校の校長だったとしたら、宿題を廃止し、学習をすることの大切さを生徒に伝えていきます。

5.感想

私たちはこのレポートを通して、いつもは何気なくしている宿題について真剣に考えることができました。また、3人で役割を決めて1つのものをつくることの楽しさも学びました。これから、宿題が出た時には今までよりも、自分のためになるようにやり方を工夫したり、自主学習もしっかりとしていきます。

担当：グラフ
文
作成



参照：2015年7月12日 マイナビニュース news.mynavi.jp